

## ST 通信、第 2 弾！

2025 年 8 月にスタートした「ST 通信」。今回は、その第 2 弾をお届けします。

第 2 弾では、以下の内容を配信いたします。

- ・「ST パンフレット」および「ST 標準備品リスト」の作成について
- ・「認知コミュニケーション障害」について

今回は、ツクイ新潟神道寺の言語聴覚士・澤田よりお届けいたします。

※ 第 1 弾は、以下のリンクからご覧いただけます。

錠剤嚥下障害や頸部聴診法など、新しい情報を収集できます。

<https://bridge.tsukui.net/content/556/>

## 2025 年度 ST コミュニティー活動の報告

### ① 「ST パンフレット」の作成

2025 年度の ST コミュニティーの取り組みの 1 つとして、「ST パンフレット」の作成をご紹介します。

現在、ツクイには 93 名の ST が在籍しており、その多くが通所介護事業所で勤務しています。多くの ST が在籍していることは、私たちの強みでもあります。

「ことば」「きこえ」「たべる」など、ST が関わる内容をわかりやすく表記したパンフレットを作成し、ツクイの ST をお客様、ご家族、地域の皆様、関係事業所の方々にもっと知っていただきたいという思いから、ST に特化したパンフレットを作成しています。「ST がいること」を知っていただくことが、支援の第一歩です。

ぜひ、ご活用いただき、ST の世界を広げていきましょう。



### ② ST 関連教材、備品などの「ST 標準備品リスト」の作成

ツクイ ST 研修で実施したアンケートでは、「備品が不足している」「不十分である」といった回答が多く見られました。そこで今回は、ST が配置されている事業所を対象に、「ST 標準備品リスト」を作成しました。このリストは、ST が働きやすく専門性を発揮しやすい環境を整えること、また、ST の訓練が必要なお客様や口腔機能向上サービスを受けるお客様へのサービス提供の支援強化を目的としています。

リストは以下の 2 項目に分かれています。

- ・必須項目：ST 配置事業所に常備していただきたい備品
  - ・任意項目：事業所によってはすでに備わっている、または今後備えることを検討していただきたい備品
- 管理者の皆様には、所属する ST スタッフとご相談のうえ、ご確認いただければと思います。

| 標準備品リスト 一覧 |            |                |
|------------|------------|----------------|
| 項目         | 購入サイト      | 金額             |
| 必須         | 舌圧子        | Amazon ¥588    |
|            | 滅菌ガーゼ      | たのめー ¥288      |
|            | 口腔ケア綿棒     | たのめー ¥302      |
|            | ペコバンダ      | Amazon ¥1,891  |
| 任意         | 巻き笛        | Amazon ¥685    |
|            | 聴診器        | Amazon ¥11,680 |
|            | パルスオキシメーター | Amazon ¥7,836  |
|            | 口腔ケアスポンジ   | たのめー ¥1,082    |
|            | 口腔ミラー      | Amazon ¥1,314  |

10 月 17 日(金)には、ST 全体研修（オンライン開催）にて、今年度の ST コミュニティー活動についてご説明いたします。ツクイで働く ST 同士の交流も行いますので、ぜひご参加ください！

## 「認知コミュニケーション障害」について

山形県で開催された「第 26 回日本言語聴覚学会」の書籍販売において好評だった、岡山県立大学保健福祉学部教授であり、ST でもある中村 光（なかむら ひかる）先生の著書『認知コミュニケーション障害の理解と評価・訓練』（協同医書出版社）をご紹介します。

中村先生の著書『失語症の言語訓練』（協同医書出版社）も ST の間で非常に評判が良い一冊です。ST の友人から「分かりやすく整理しやすい本だよ」と教えてもらいました。

今回は、私自身も初めて見聞きした「認知コミュニケーション障害」について、中村先生の書籍をもとにご紹介します。



## 【認知コミュニケーション障害】

認知コミュニケーション障害とは、1987 年に米国言語聴覚士協会が初めて用いた用語です。現在も診断基準は存在しないとされていますが、Mac Donald と Shumway（2022）による定義では、「神経疾患に起因する認知機能障害によって生じるコミュニケーションの困難である。その困難さは、認知機能（注意、記憶、組織化、情報処理、問題解決、遂行機能）の障害を背景にコミュニケーション能力に現れる。この障害は、他の神経学的コミュニケーション障害（失語症、運動性構音障害など）とは異なり、その臨床には特有の技法が必要になる。認知コミュニケーション障害は外傷性損傷によって生じるが、他の後天性脳損傷、例えば脳血管疾患や、脳炎、低酸素脳症、脳腫瘍によっても生じる。（\*1）」とされています。

中村先生は本書の中で、より簡潔に

「後天性脳損傷によって生じる、認知機能障害がその背景にあると考えられる、非失語症のコミュニケーション障害の総称である。（\*1）」と説明されています。

私自身、デイサービス内でスタッフから「〇〇様は失語症ですか？」と質問を受けることがあります。

「問いかけに答えられるときと、答えられないときがある」といった症状に対し、言語障害 = 失語症というイメージから、対応を検討するために助言を求められることが多いです。

そのたびに「失語症ではないので、失語症のアプローチではありませんが……認知機能の低下が影響しているのかもしれない」と、あいまいな回答になってしまうこともありました。

しかし、本書を読むことで、認知機能がコミュニケーションにどのような影響を与えるのか、また、言語訓練ではなく認知機能訓練によってアプローチする方法が整理できるようになりました。

### 【認知症とコミュニケーション】

認知機能がどのようなコミュニケーション障害の症状の基盤となっているのかは未解明な部分も多いですが、中村先生は、以下のような仮説を立てていますので、一部をご紹介します。（\*1）

| 認知機能 | 下位領域        | 認知コミュニケーション障害の症状                        |
|------|-------------|-----------------------------------------|
| 記憶   | 短期記憶・近時記憶   | まとまりのない発話（繰り返し）                         |
|      |             | 言語理解全般の困難                               |
| 注意   | 選択・維持・分配・転換 | 言語理解全般の困難<br>（特に、速い発話、ストレスフルな環境での会話の困難） |
|      |             | 会話スタイルの調整困難                             |

このように、認知機能障害が日常生活に影響を与える可能性は十分にあり、今後は ST など専門職による適切な評価と訓練が求められます。

中村先生の書籍では、認知コミュニケーション障害の病態、原因疾患、評価・訓練方法について包括的に解説されています。ぜひご覧ください。

\*1 認知コミュニケーション障害の理解と評価・訓練，協同医書出版社，2025

---

<問い合わせ先>

サービス支援部 金谷